

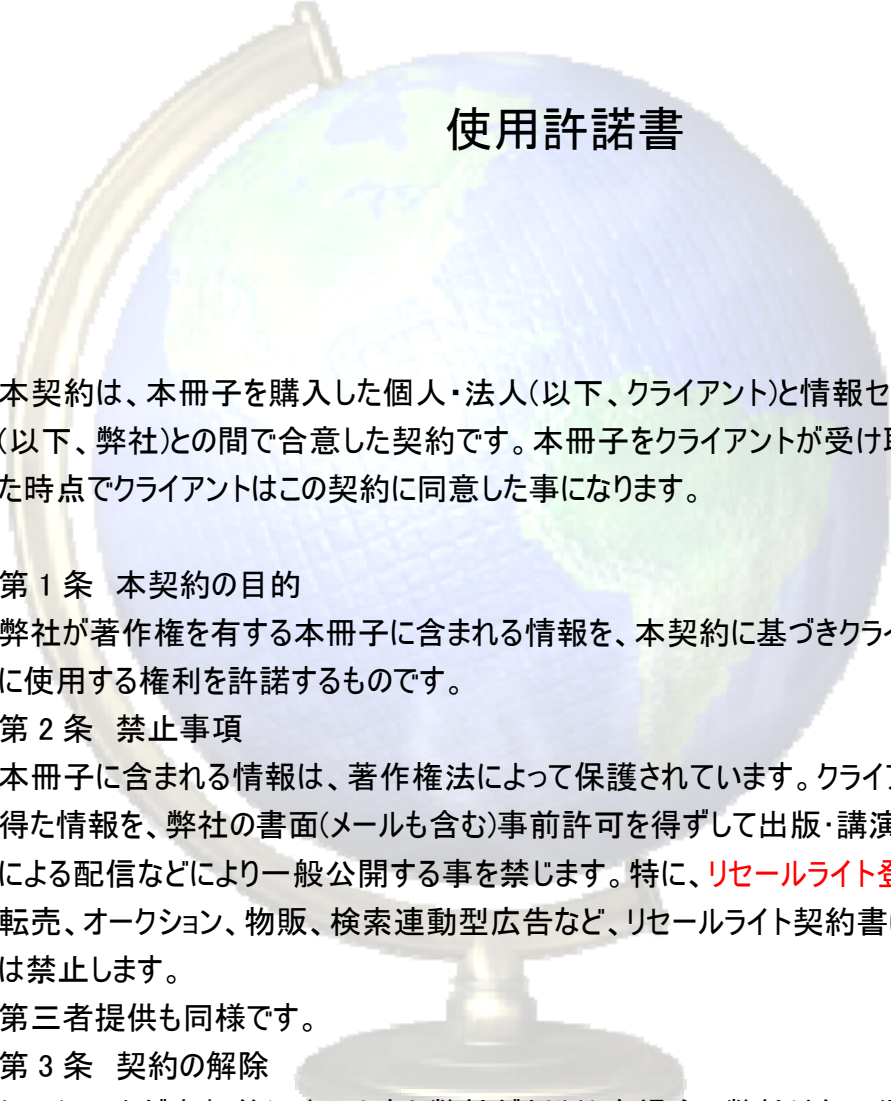
図解！Movable Type を使って訴えられる？商用利用でも
ライセンスフリーな WordPress で起業しろっ！

基本編

(マスターリセールライト付)

発行 情報セキュリティ有限会社
代表取締役 田中大輔

重要：再販売する場合は事前に<http://www.e-isc.jp/MRL/>で登録してください。
無料で配布することは出来ません。(他の商材と抱合せ販売は可能)



使用許諾書

本契約は、本冊子を購入した個人・法人(以下、クライアント)と情報セキュリティ有限会社(以下、弊社)との間で合意した契約です。本冊子をクライアントが受け取り、ファイルを開いた時点でクライアントはこの契約に同意した事になります。

第 1 条 本契約の目的

弊社が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づきクライアントが非独占的に使用する権利を許諾するものです。

第 2 条 禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。クライアントは本教材から得た情報を、弊社の書面(メールも含む)事前許可を得ずして出版・講演および電子メディアによる配信などにより一般公開する事を禁じます。特に、**リセールライト登録をせずに販売、転売、オークション、物販、検索連動型広告など、リセールライト契約書に違反するような事は禁止します。**

第三者提供も同様です。

第 3 条 契約の解除

クライアントが本契約に違反したと弊社が判断した場合、弊社は何の通告もなく、使用許諾契約書を解除する事が出来るものとします。

第 4 条 損害賠償

クライアントが、第 2 条、及び、後述するリセールライト契約書に違反した場合、いかなる状況であれ、弊社に対し違約金を支払うものとします。違約金は、違反件数と販売金額を乗じたものの 10 倍の金額を支払うものとします。インターネット、ファイル共有ソフトや匿名 FTP サーバーなどに無料公開した場合、別途 300 万円の損害賠償を支払うものとします。弊社は情報を守る業務を得意としているため、違法クライアントを追跡する事が可能です。

第 5 条 責任の範囲

本冊子の情報を元に行なわれた一切の責任はクライアントにあり、それによって損害が生じたとしても弊社は一切の責任を負いません。また、この WordPress に関するサポートは行っておりません。

マスターリセールライト契約書

- 1、この e-book はあなたが自由に第三者に、自由な設定金額で販売することが出来る。ただし、無料配布は禁ずる。
- 2、あなたがこの e-book をオンラインで販売した時に得られる利益は100%あなたのものである。
- 3、誰もこの e-book を編集、改ざんなど手を加える事は許されない。
- 4、あなたがこの再販売権利を行使する場合、事前に<http://www.e-isc.jp/MRL/>にて個人情報を登録せねばならない。ただし、この個人情報は弊社の[プライバシー方針](#)によって保護されるものとする。虚偽の内容で登録した場合、契約違反、使用許諾違反とみなす。
- 5、この権利はインターネット上で販売する形態を取り、あなたが印刷して販売する事は許されない。購入希望者が印刷された冊子を求める場合は、弊社ホームページでのみである事を伝える。その場合の利益は弊社に帰属する。
- 6、その他、弊社の判断により不適当と為った場合、事前に警告をし、改善が認められない場合は一切の権利を剥奪できるものとする。
- 7、1～6 に違反した場合、もしくは弊社が違反すると認識した場合一切の権利を剥奪できるものとする。
- 8、この契約書は弊社が自由に変更できるものとする。ただし、変更する場合は再販売者に対して[弊社ホームページ](#)で告知し、一定期間を経て有効となる。

以上がリセールライトの説明及び契約書です。

分からない事や、確認したい事があれば、resale@e-isc.jpへご連絡ください。

Movable Type にお金を払う？

個人利用には最高の Movable Type ですが、商用利用となると規定料金を支払わなければなりません。

以下は<http://www.sixapart.jp/movabletype/license.html>からの引用です。

個人による商用利用または法人や団体での利用の場合は、ブログの内容に関わらず通常ライセンス(ダウンロードライセンスまたはライセンスパック)が必要です。通常ライセンス(ダウンロードライセンスまたはライセンスパック)は購入した法人や団体の社員、職員に利用が限定されています。ダウンロードライセンスには 1 サーバー・5 ユーザー (26,250 円)と 1 サーバー・10 ユーザー (47,250 円)があります。

結構、ライセンス違反は多いようです。というより、ほとんど気がつかないで違反を犯している場合が多いということです。

特に情報起業家の場合、気をつけなければなりません。SEO 対策もし、費用もかけて構築して、せっかく波に乗れたところで「ライセンス違反です」なんて通知がきたら目も当てられません。

再構築すればよいだけの話ではなく、今まで築き上げたものが一瞬にして終わりです。

ユーザーフレンドリーで、商用利用可能なブログシステムを構築しましょう。
それが、WordPress です。

では、なにが Movable Type と違うのか？
簡単にいいますと・・・

- 1、 再構築する必要がない(サーバーへの負荷が少なく、更新が早い)
- 2、 GPL ライセンスのため商用利用でも無料で利用できる
- 3、 独自言語ではなく、PHP で記述されているためカスタマイズが容易
- 4、 デザインの変更が容易

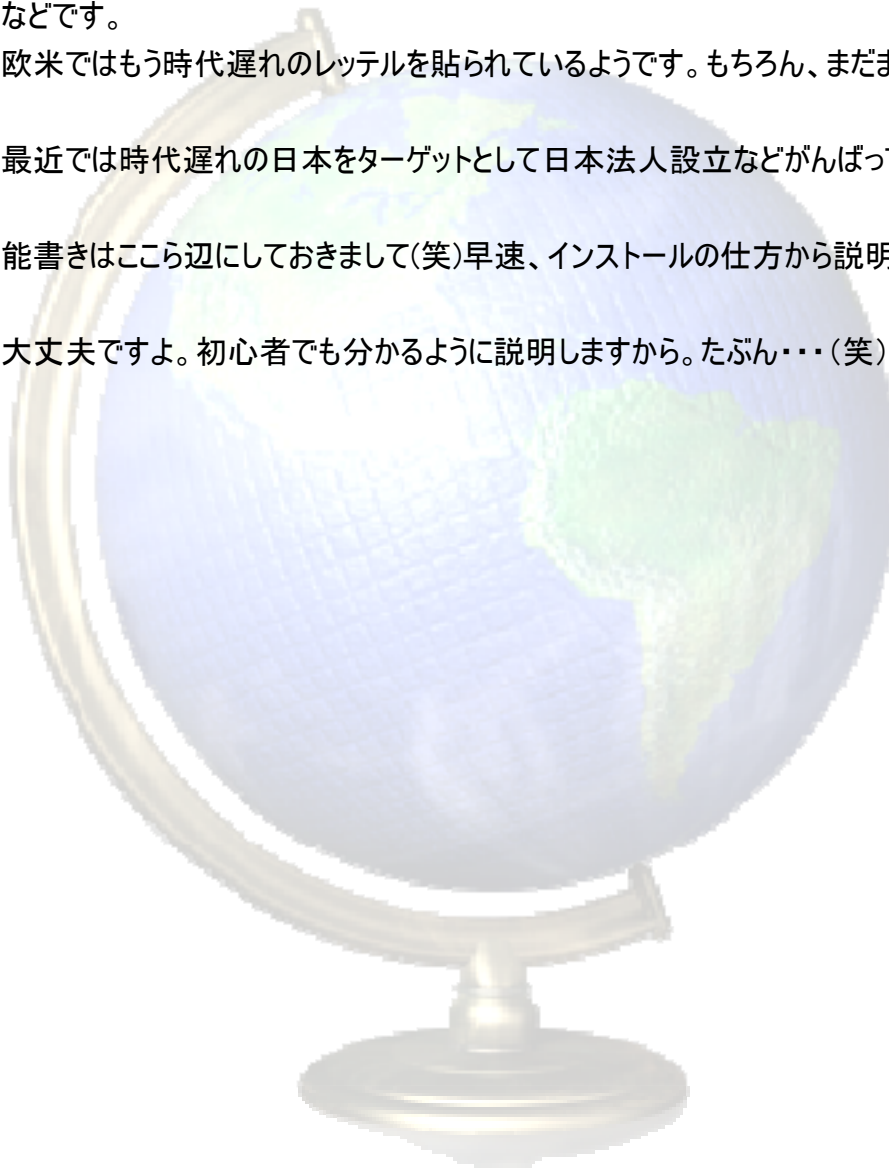
などです。

欧米ではもう時代遅れのレッテルを貼られているようです。もちろん、まだまだ健在ですが。

最近では時代遅れの日本をターゲットとして日本法人設立などがんばっているようです。

能書きはこころ辺にしておきまして(笑)早速、インストールの仕方から説明しましょう。

大丈夫ですよ。初心者でも分かるように説明しますから。たぶん・・・(笑)



WordPress の使用環境

これは必須条件です。

- **PHP4** (version 4.2 もしくはそれ以上)
- **MySQL** (version 3.23.23 もしくはそれ以上)

となっています。ご利用中のサーバーが対応していない場合(99%対応していると思いますが)別途サーバーを借りる必要があります。

お勧めは[こちら](#)です。[ロリポップ](#)でもかまいませんが、パーミッションの設定が特殊なので初心者には無理です。(安くていいのですが)といっても、PHPお助けあい掲示板などで質問して、気長に待てるなら大丈夫かもしれません。

でも、絶対にパーミッションが分からなくて困り果てるのは目に見えているので、[こちら](#)をご利用ください。

対応しているのであれば、今現在お使いのサーバーでもまったく問題ありません。

WordPress のインストール

[WordPress 日本ユーザー会](#)のページからダウンロードします。

何か困ったときはここで質問すれば、天才たちが教えてくれますよ(笑)

ただ、どこから、何をダウンロードすればよいかわからない方もいらっしゃると思いますので、

<http://sourceforge.jp/projects/wordpress/files/>

ここから、**wordpress-me204.zip**というのをダウンロードしてください。2006 年 8 月 31 日現在のバージョンは 2.0.4 ですが、かならず最新版をダウンロードしましょう。

wordpress-me204.zipというところをクリックしますと、次のようなところがあります。



一番右の 1019kbの隣りにあるアイコンをクリックすればダウンロードできます。

Zipファイルなので解凍する必要があります。XPなら右クリックして展開を選択しましょう。

なければ[そこらへんから](#)解凍ソフトをダウンロードしてください^^。

さて、アップロードする前にすることがあります。

まず、レンタルサーバー先でMySQLアカウント情報をメモして置いてください。

MySQLに関しては各サーバーで違いますのでレンタルサーバーに問い合わせてください。

ユーザー名とパスワードはすでに発行されているはずです。

また、FTPアカウントもメモして置いてください。

ファイルをサーバーに置く(アップロード)するのに必要です。

参考URLは・・・

<http://wordpress.xwd.jp/begin/>

ロリポップの場合は、

<http://bless.babyblue.jp/docwp/2005/08/05/install-wp-me1513-for-lolipop/>

です。ただ、参照資料があるからといって、ロリポップにすると痛い目に遭います(苦笑)
通常、解説されているパーミッションの番号はロリポップにはそのままでは当てはまりません。

FTPの設定は[コチラを参照してください](#)。

サーバーによっては事前に MySQL でデータベース名を作成しておく必要があります。

設定が完了しましたら、ファイルのアップロードです。

たとえば、あなたが独自ドメインを持っているとしましょう。(例 <http://hoge.co.jp/>等)

FTP 転送ソフトで設定した情報に接続しますと、通常はトップのフォルダ(これをドキュメントルートといいます)に接続されます。

では、ブラウザで見てください。

WordPress ME

サーバー上に wp-config.php ファイルが存在しません
WordPress のインストールにはこのファイルが必要です。

こちらの[ウィザード](#)を利用してサーバー上で wp-config.php ファイルを作成することができますが、この方法はすべての環境での動作を保障することができませんのでご了承下さい。

最も確実な方法は wp-config-sample.php を参考に手動でファイルを作成することです。

こうなれば正解です。ウィザードをクリックして進んでください。

ブログを一番最初の画面、つまりあなたのドメインのトップに表示させたい(<http://hoge.co.jp/>)はすべてのファイルとフォルダをトップフォルダにアップロードします。(通常トップフォルダは FTP 転送ソフト上「/」と表示されています。)この場合、ロリポップではエラーになります。

その場合は wp-config.php を手動で設定します。まだ、作成されていなければ、wp-config-sample.php があるはずですから、その名前を wp-config.php と変えてテキストエディタなどで開き、下記の赤字部分を変更します。

```
// ** MySQL settings ** //  
define('DB_NAME', 'wordpress'); // The name of the database  
define('DB_USER', 'username'); // Your MySQL username  
define('DB_PASSWORD', 'password'); // ...and password  
define('DB_HOST', 'localhost'); // 99% chance you won't need to change this v
```


最後の localhost はサーバーによっては変更しないとエラーが出ます。特にロリポップはそうです。割り当てられたサーバー名を入力してください。(mysql1.lolipop.jp 等)

もし、http://hoge.co.jp/WordPress/などとサブフォルダにしたい場合は「/」の下(/の中に) WordPress というフォルダを作成し、そのフォルダの中にファイルをアップロードします。

再度、トップ画面を表示するとこうなります。

WordPress ME

Welcome to WordPress installation. We're now going to go through a few steps to get you up and running with the latest in personal publishing platforms. You may want to peruse the [ReadMe documentation](#) at your leisure.

[First Step >>](#)

[WordPress](#), personal publishing platform.

First Step をクリックします。

WordPress ME

First Step

Before we begin we need a little bit of information. Don't worry, you can always change these later.

Weblog title:	<input type="text"/>
Your e-mail:	<input type="text"/>

Double-check that email address before continuing.

[Continue to Second Step >](#)

[WordPress](#), personal publishing platform.

このような画面に進みますので、「Weblog title」に任意の名前、Your e-mail にこのブログ管

理用のメールアドレスを入力します。

その後、下にある、「Continue to Second Step」をクリックします。



Second Step

Now we're going to create the database tables and fill them with some default data.

Finished!

Now you can [log in](#) with the **username** "admin" and **password** "5097eb".

Note that password carefully! It is a *random* password that was generated just for you. If you lose it, you will have to delete the tables from the database yourself, and re-install WordPress. So to review:

Were you expecting more steps? Sorry to disappoint. All done! :)

[WordPress](#), personal publishing platform.

データベースに問題なく書き込まれれば、Finishedと表示されます。

こうならない場合は、データベースにアクセスできない状態ですので、再度確認し、再実行してください。

log in のリンクをクリックしてログインします。



The image shows a screenshot of the WordPress login page. At the top is the WordPress logo and the word "WORDPRESS". Below that, there are two input fields: "Username:" with the text "admin" and "Password:" with masked characters. There is a checkbox labeled "Remember me" which is checked. A "Login »" button is at the bottom right. At the very bottom, there are two links: "« Back to blog" and "Lost your password?".

この例ではユーザー名が admin、パスワードが 5097eb ですので入力し、ログインします。

ユーザー名とパスワードは先ほど入力したメールアドレスに送られていますので確認してください。

また、このパスワードは世界共通だと思ってください。管理画面で必ず変更してください。

通常、wp-config.php を自動で作成すれば、すべて日本語で表示されるはずですが。今回の場合は、wp-config.php を手動で編集したので英語メニューになっています。どうしても、日本語にしたい場合は、インストール前に、wp-config.php を編集して、

```
// Change this to localize WordPress.  A corresponding MO file for the
// chosen language must be installed to wp-includes/languages.
// For example, install de.mo to wp-includes/languages and set WPLANG to 'de'
// to enable German language support.
define ( 'WPLANG', 'ja_EUC' );
```

赤字で書いてあるように設定してください。インストール後に編集しても結構ですが、設定によっては反映されない場合があります。できない方は再インストールです。wp-config.php をサーバー上から削除、データベースも削除してインストールしたトップページを開いてください。

インストールしたフォルダ(ディレクトリ)のパーミッションを書き込み可能にしてください。ロリポップの場合は、757 で wp-config.php をいじることなくインストールできます(最初書けばよかったですね 汗)その他の場合は、755、707 など、サーバーによって違いますのでサーバー管理者に尋ねてください。

ただし、インストール後はセキュリティ上良くないので、必ずもとのパーミッションに設定しましょう。

wp-config.php も 604 など、書き込み制限を行ってください。さもないと、他人にパスワードをさらしてしまうことになります。

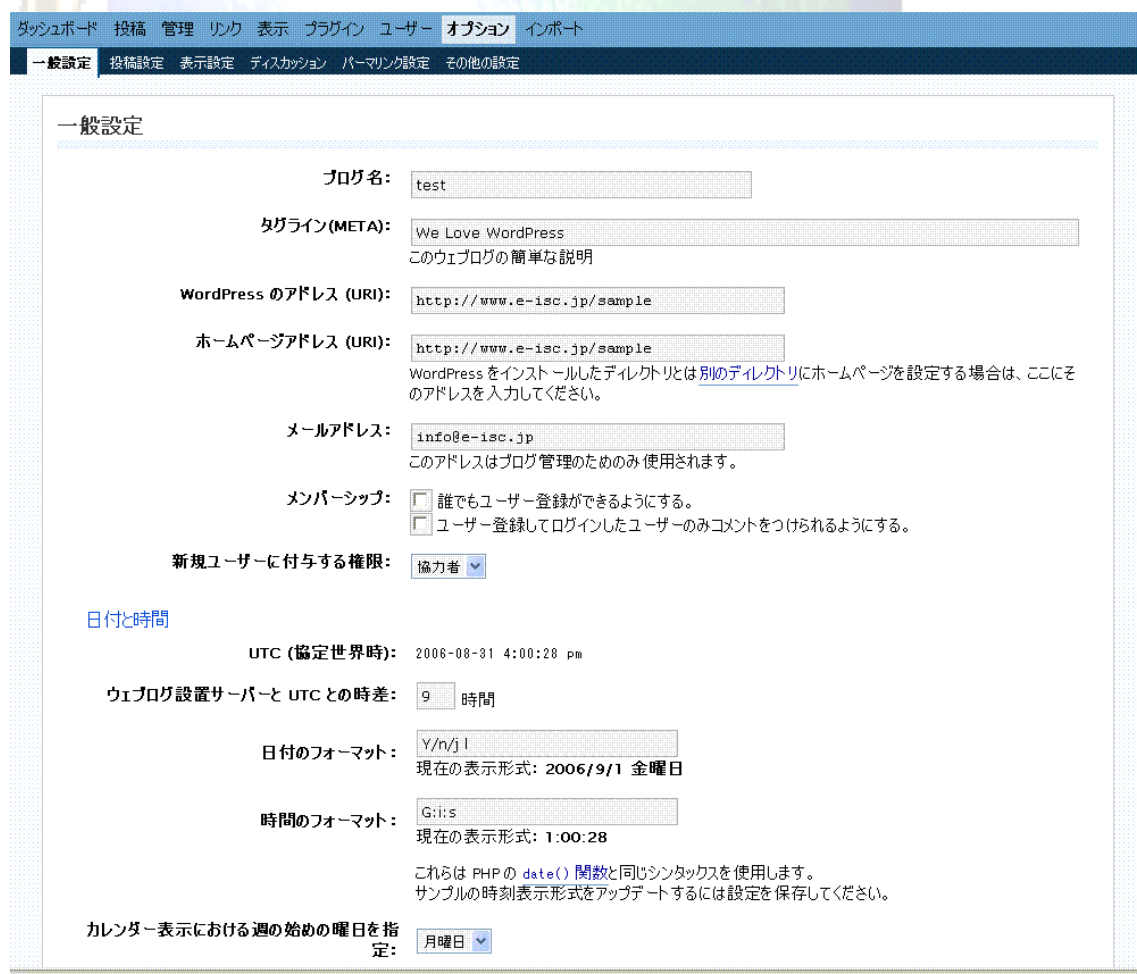
<http://wordpress.xwd.jp/>

こちらの「チュートリアル」に参考となるサーバー別の情報が載っています。

WordPress 基本設定

では、少しずつカスタマイズしていきましょう。

まず、一般設定です。



ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー **オプション** インポート

一般設定 投稿設定 表示設定 ディスカッション パーマリンク設定 その他の設定

一般設定

ブログ名: test

タグライン(META): We Love WordPress
このウェブログの簡単な説明

WordPress のアドレス (URI): http://www.e-isc.jp/sample

ホームページアドレス (URI): http://www.e-isc.jp/sample
WordPress をインストールしたディレクトリとは別のディレクトリにホームページを設定する場合は、ここにそのアドレスを入力してください。

メールアドレス: info@e-isc.jp
このアドレスはブログ管理のためのみ使用されます。

メンバーシップ: ☐ 誰でもユーザー登録ができるようにする。
☐ ユーザー登録してログインしたユーザーのみコメントをつけられるようにする。

新規ユーザーに付与する権限: 協力者

日付と時間

UTC (協定世界時): 2006-08-31 4:00:28 pm

ウェブログ設置サーバーと UTC との時差: 9 時間

日付のフォーマット: Y/n/j
現在の表示形式: 2006/9/1 金曜日

時間のフォーマット: G:i:s
現在の表示形式: 1:00:28
これらは PHP の `date()` 関数と同じシンタックスを使用します。
サンプルの時刻表示形式をアップデートするには設定を保存してください。

カレンダー表示における週の始めの曜日を指定: 月曜日

オプションから、一般設定をクリックします。

今回設定するのは、日付のフォーマットです。「Y/n/j」となっていますが、これを「Y 年 n 月 j 日」とすれば日本語表記になります。もちろんそのままでもかまいません。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)

投稿設定

記事投稿用テキストエリアのサイズ: 10 行

フォーマットオプション:

- ☒ ビジュアルリッチエディタを使用する
- ☒ :-) や :-P をグラフィックに置き換えて表示する
- ☒ 不正な XHTML 構文を自動的に修正する

デフォルトのカテゴリ: 未分類

メールでの投稿

メールを利用して WordPress に投稿するには POP3 アクセスによるメールアカウントを作成してください。このアドレスで受信されたすべてのメールが投稿されますので、使用するアドレスは秘密にしておいたほうがいいでしょう。使用することができる三つのランダムストリング: a79b2, 34772, f4f93

メールサーバー: ポート: 110

ログイン名:

パスワード:

メール投稿時のデフォルトカテゴリ: 未分類

更新通知サービス

WordPress への新規投稿時にピンを飛ばして更新を知らせるサイトを入力します。ピン送信先の推奨サイトに関しては Codex にある [Update Services](#) を参考にしてください。改行を入れることで複数の URI を指定することができます。

設定を更新する >>

次は、投稿設定です。

設定するのは、一番下にある、更新通知サービスです。

Ping を飛ばす先のことですね。

Google などで Ping サーバー 一覧 などと検索するとたくさん出てきますので設定しましょう。

また、Ping 一括送信サービスを使うと便利です。

[PingLiner](#)

[PinGoo](#)

などたくさんあります。

なるべく多くのサーバーを登録したほうが、多くの方に見てもらう可能性が出てきます。

Blog はこの Ping 存在が普通の Web サイトとは違いますね。

ライセンスフリーな WordPress で起業しろっ！ (マスターリセールライト付)

次は、「表示設定」です。

A screenshot of the WordPress 'Display Settings' (表示設定) page. The page has a blue header with navigation links: ダッシュボード, 投稿, 管理, リンク, 表示, プラグイン, ユーザー, オプション, インポート. Below the header is a sub-header with links: 一般設定, 投稿設定, 表示設定 (highlighted), ディスカッション, パーマリンク設定, その他の設定. The main content area is titled '表示設定' and includes sections for 'ブログページ' (Blog Pages) with '最大表示数' (Maximum number of posts to display) set to 10 and a '日分' (Days) dropdown; 'RSS / Atom フィード' (RSS / Atom Feeds) with '最新投稿表示数' (Number of posts to show) set to 10 and '投稿分' (Post content) selected for '各投稿の表示' (Display of each post); and 'ブログの文字コード' (Blog's character encoding) set to 'EUC-JP'. A note mentions 'UTF-8を推奨' (UTF-8 is recommended). At the bottom, there is a checkbox for 'ブラウザの要求に応じて投稿内容を圧縮する (gzip)' (Compress post content as requested by browser (gzip)) and a '設定を更新する' (Save changes) button.

最大表示数はご自由に設定してください。

また、文字化け時にブログの文字コードなどを変更するのもこちらの画面です。

今回設定するのは、「ブラウザの要求に応じて投稿内容を圧縮する」という部分です。
これはサーバー側が gzip とよばれる圧縮プログラムをインストールしている場合、これが有効になります。

ブロードバンド時代とはいえ、Web に載せる情報量も多くなりましたので必ずチェックを入れましょう。

サーバーが対応していないときは、ただ単に通常通り転送するだけです。

設定を更新する をクリックして反映させます。

「ディスカッション」の画面です。



ディスカッション設定

投稿の通常設定:
(投稿画面でのチェックボックスによる選択が優先されます)

- ☐ 投稿記事中からリンクしたすべてのウェブログへの通知を試みる (処理に時間がかかります)
- ☒ 他のウェブログからのリンク通知を許可する (ピンバックとトラックバック)
- ☒ 投稿記事に対してコメントを許可する

自分宛のメール通知に関して:

- ☒ コメント 投稿があった際は常に通知する
- ☒ コメントが承認待ちになっているときに通知する

コメント表示に関する設定:

- ☐ コメントの表示には管理者の承認が必要 (以下の設定に左右されず)
- ☒ コメント 投稿者の名前とメールアドレスの入力を必須にする
- ☐ 以前に承認されたコメント 投稿者のみコメントを許可する

起業用の表示専用のブログならば、コメントやリンク通知(トラックバック)はオフにしてかまわないでしょう。

あとは見ての通りです。ご自身にあった設定にしてください。

ちなみに、この下の画面で細かいスパム設定が出来ます。
コメントモデレーションでは改行でキーワードを個別に設定します。

4u
adipex
advice
baccarrat
blackjack

blogspot

booker

byob

などです。これを入力しておくで合致したキーワードの含まれている場合、承認まちになります。

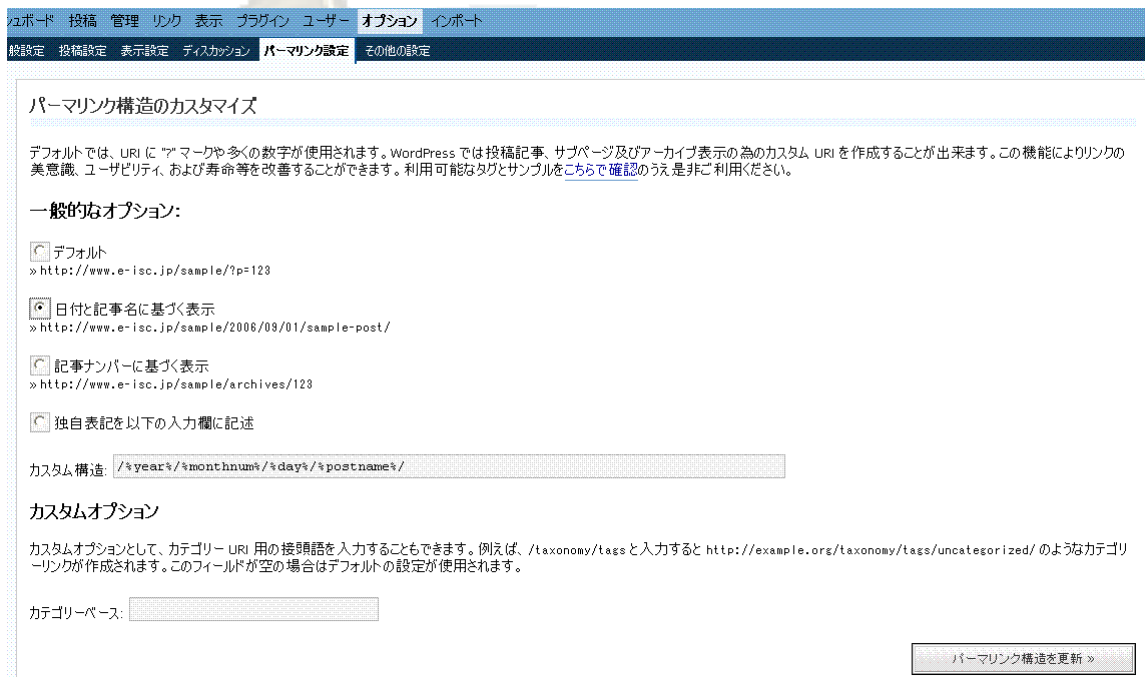
コメントブラックリストは、ひとつでも合致するとコメントが削除されますので、注意して設定してください。

最初が一番下にある「安全の確認されていない公開プロキシからのコメントをブラックリストに載せる」にチェックを入れるだけでよいかもしれません。

入力し終わったら、「設定を更新する」をクリックします。

ライセンスフリーな WordPress で起業しろっ！ (マスターリセールライト付)

「パーマリンク設定」の画面です。



ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー オプション インポート

般設定 投稿設定 表示設定 ディスカッション パーマリンク設定 その他の設定

パーマリンク構造のカスタマイズ

デフォルトでは、URI に "ア" マークや多くの数字が使用されます。WordPress では投稿記事、サブページ及びアーカイブ表示の為のカスタム URI を作成することが出来ます。この機能によりリンクの美意識、ユーザビリティ、および寿命等を改善することができます。利用可能なタグとサンプルを[こちらで確認](#)のうえ是非ご利用ください。

一般的なオプション:

☐ デフォルト
» `http://www.e-isc.jp/sample/?p=123`

☒ 日付と記事名に基づく表示
» `http://www.e-isc.jp/sample/2006/03/01/sample-post/`

☐ 記事ナンバーに基づく表示
» `http://www.e-isc.jp/sample/archives/123`

☐ 独自表記を以下の入力欄に記述

カスタム構造:

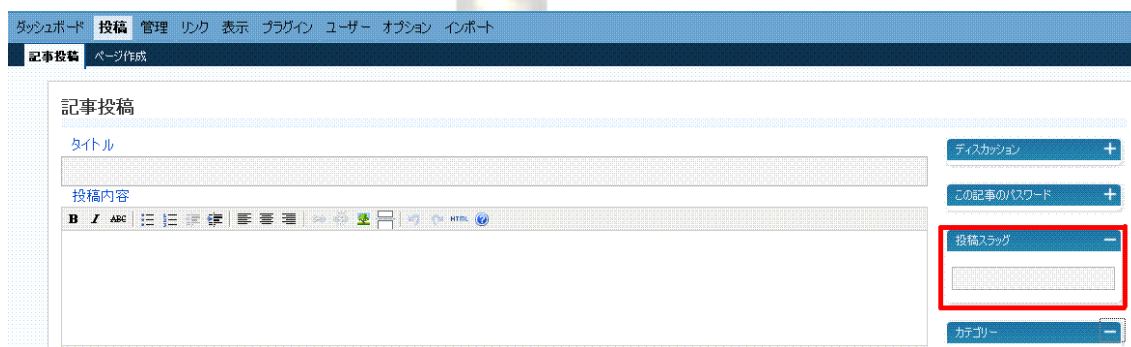
カスタムオプション

カスタムオプションとして、カテゴリ URI 用の接頭語を入力することもできます。例えば、`/taxonomy/tags` と入力すると `http://example.org/taxonomy/tags/uncategorized/` のようなカテゴリリンクが作成されます。このフィールドが空の場合はデフォルトの設定が使用されます。

カテゴリベース:

パーマリンク構造を更新 »

これは SEO の観点から、2 番目の「日付と記事名に基づく表示」を選択したほうが良いでしょう。ただ、投稿時に右側にある投稿スラッグ(下の画面左側)にローマ字で個別に名前を設定しなければ、ランダムな英数字が入ることになります。



ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー オプション インポート

記事投稿 ページ作成

記事投稿

タイトル

投稿内容

投稿スラッグ

ディスカッション +

この記事のパスワード +

カテゴリ -

次の「その他の設定」はそのまま問題ありません。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！ (マスターリセールライト付)

テーマの設定

次は見栄えの設定です。これは結構楽しい作業ですよ。
とくに WordPress の場合、一瞬にしてテーマを変えることができます。もちろん、戻すのも容易です。投稿内容などはまったく変わらず、スタイルシートと、デザインが変わるだけです。

ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー オプション インポート

テーマ テーマエディタ

現在のテーマ



EasyAll 1.0 by **WordPress Japan**

This theme uses it to test for ME, based on the famous [Northern-Web-Coders](#).

このテーマの構成ファイルは `wp-content/themes/EasyAll` にあります。

利用できるテーマ

WordPress Classic 1.5



The original WordPress theme that graced versions 1.2.x and prior.

WordPress Default 1.6



The default WordPress theme based on the famous [Kubrick](#).

デフォルトでは 3 つのテーマが用意されています。これでも良いのですが、せっかくなので違うテーマを探してみましょう。

テーマがダウンロードできる URL

http://codex.wordpress.org/Using_Themes/Theme_List

こちらはテーマがダウンロードできる場所のリストです。

<http://themes.wordpress.net/>

縮小版表示で見やすいですね。

http://www.alexking.org/software/wordpress/theme_browser.php

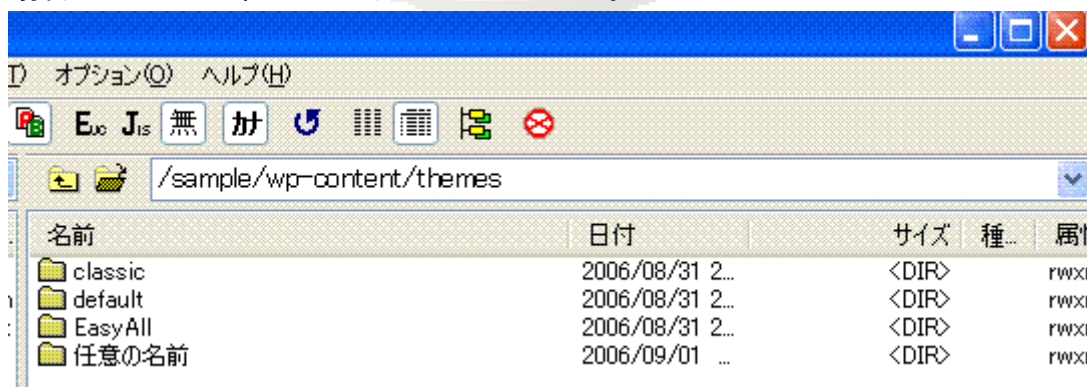
テーマブラウザが用意され、右上の「Choose a theme」で選択してください。気に入ったものはその右にある「Download」をクリックするだけです。

ただ、商用利用可能かどうかはテーマによって違いますので翻訳ソフトや Google などのオンライン翻訳を使用して確かめてください。

テーマのインストールは驚くほど簡単です。FTP 転送ソフトでサーバーに接続し、WordPress をインストールしたフォルダにアクセスしてください。

そこに、wp-content というフォルダがあるはずです。その中に、themes というフォルダがあり、その中に任意の名前でフォルダを作って、ダウンロードしたテーマをアップロードします。(もちろん圧縮されていると思いますので、お好きな場所に解凍し、その中身のファイルをアップロードしてくださいね)

フォルダを作らなくても、ダウンロードしたテーマをフォルダごとアップロードしても良いです。その場合は themes の直下にアップロードしてください。

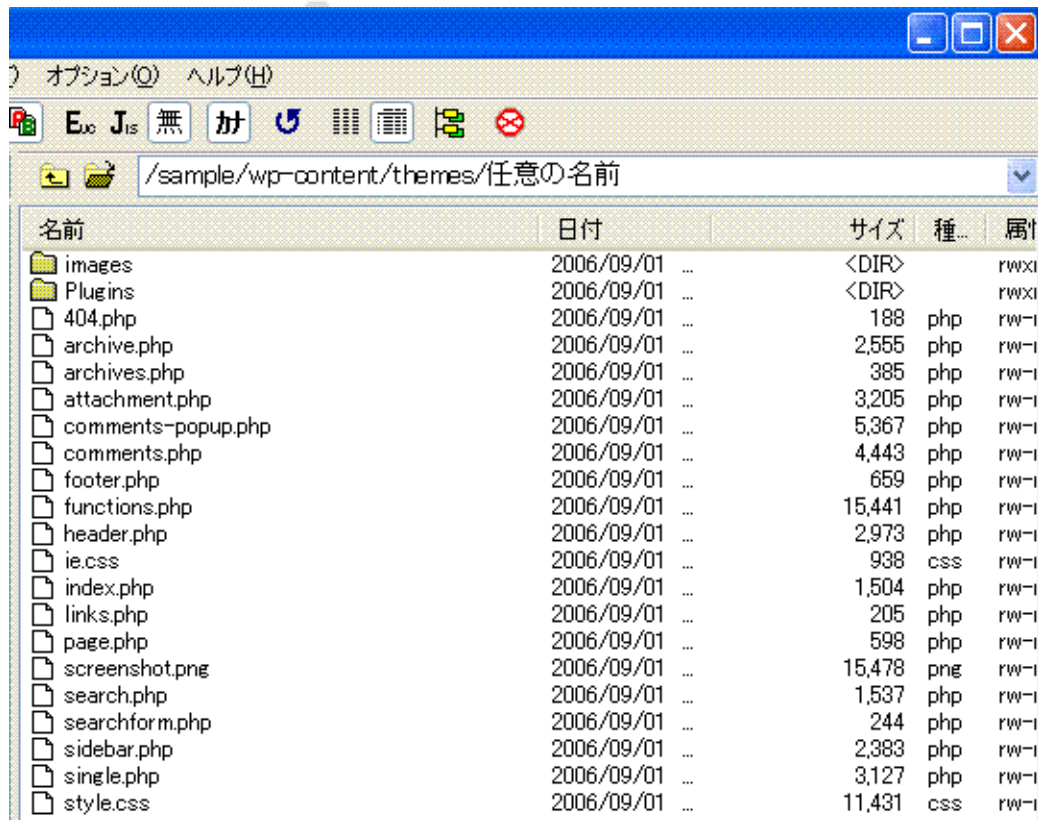


階層としてはこうなります。

wp-content/themes/任意の名前/ (本当は日本語はだめですよ)

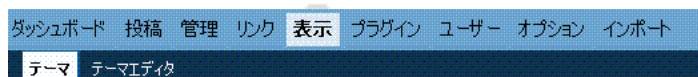
この中にテーマファイルを入れてください。(多くは PHP ファイルとフォルダ)

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)



では、インストールしたテーマを見てみましょう。
表示→テーマにアクセスしてください。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)



現在のテーマ



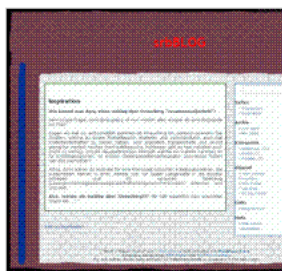
EasyAll 1.0 by **WordPress**

This theme uses it to test for **Northern-Web-Coders**.

このテーマの構成ファイルは wp-c

利用できるテーマ

**noch ein Mauer-
Theme in deutsch
2.0+**



inkl nEtiger Plugins. Diese bitte
in den wp-ordner 成端r Plugins
kopieren.

WordPress Classic 1.5



The original WordPress theme
that graced versions 1.2.x and
prior.

ちゃんとインストールされています。この画面では文字化けも起こしていますが気にしなくても結構です。画像をクリックしますと新しいテーマに切り替わります。

元に戻すときはこの画面で元の画像をクリックすれば戻ります。
どうです？簡単でしょう？

ご自分の気に入った物を探してインストールしてください。

中には SEO 対策の施されたテーマもあります。

<http://gtd.studiomohawk.com/theme/>

Square SM version 0.7というのが本体です。

ここの管理者、個人的に大好きです。

メールでの問い合わせにも丁寧に対応していただきました。

プラグインの設定

最初に注意です。プラグイン同士の相性によって不具合が生じる可能性もありますので、一つ一つ順番に有効化していきましょう。

もし、致命的な不具合(アクセス不可能状態など)になった場合、再インストールすることをお勧めします。ですから、プラグインをインストールする前には必ずバックアップを取りましょう。

以下は<http://fx2.jp/wordpress/?p=3>からの引用です。

.まず、新規に WordPress をインストールします。

2.複製元の wp-content 以下のテーマディレクトリを tar cvfz などアーカイブし、新規にインストールした複製先の WordPress の wp-content 以下に展開します。

3.元のデータベースの (db 接頭辞).options 以外の項目をエクスポート。MySQLAdmin があると、「エクスポート」でテーブルを選択するだけで SQL に一括で書き出せる。

4.複製先の WordPress の (db 接頭辞).options 以外の項目を削除。

5. 3.で作成した SQL を開き、db 接頭辞を複製元のものから複製先の db 接頭辞に変える。

6.変更した SQL 文を、データベースにインポート。

これで OK なはずですが。

3. のところで、複製元の接頭辞の付いた全てのテーブルをエクスポートしておけば、それは当然バックアップになります。

いずれもっとスマートな方法があればぜひ教えて下さい。プラグインを使う方法もあるようですが。

(追記) 注意として、ユーザのログイン情報も引き継いでしまうため、admin のパスワードが元のブログと同じものになってしまう。管理パスワードを別々にしたい場合には、インストール直後に控えておいたパスワードに再設定などする必要がある。

この方法は MySQL の知識が必要ですので初心者には厳しいですね。ロリポップでは特に難

いいかもしれません。と思ったら、プラグインがありました。
よくよく見たら、標準でインストールされているんですね(汗)

プラグインを有効化します。

[ダッシュボード](#) [投稿](#) [管理](#) [リンク](#) [表示](#) **プラグイン** [ユーザー](#) [オプション](#) [インポート](#)

プラグイン [プラグインエディタ](#)

プラグイン管理

プラグインとは、WordPress のコアパッケージとは別途にダウンロードする"機能"を追加するためのファイルです。一旦プラグインがインストールされれば、ここでそのプラグインを作動させたり停止させたりすることができます。

プラグイン	バージョン	概要	アクション
Akismet	1.15	Akismet checks your comments against the Akismet web service to see if they look like spam or not. You need a WordPress.com API key to use this service. You can review the spam it catches under "Manage" and it automatically deletes old spam after 15 days. Hat tip: Michael Hampton and Chris J. Davis for help with the plugin. <i>By</i> Matt Mullenweg .	有効化
Hello Dolly	1.5	This is not just a plugin, it symbolizes the hope and enthusiasm of an entire generation summed up in two words sung most famously by Louis Armstrong: Hello, Dolly. When activated you will randomly see a lyric from Hello, Dolly in the upper right of your admin screen on every page. <i>By</i> Matt Mullenweg .	有効化
WordPress Database Backup	1.7	On-demand backup of your WordPress database. <i>By</i> Scott Merrill .	有効化 このプラグイン

プラグインが原因で WordPress を正常に運用することができなくなった場合は、wp-content/plugins ディレクトリーから対象プラグインを削除するかリネームしてください。そうすることで自動的に無効化されます。

プラグインの入手

プラグインを手に入れるには、[WordPress plugin directory](#) にアクセスしてください。インストールするには、wp-content/plugins ディレクトリーにプラグインファイルを転送するだけです。一旦プラグインがインストールされれば、このページでプラグインを作動させたり停止させたりすることができます。

WordPress Database Backup の一番右にある有効化をクリックしてください。
そうすると、その部分だけ色が変わるはずですよ。変わったら OK です。
管理のタブにバックアップというメニューが追加されています。

しかし、そこに立ち上がるのが待っていたりします。パーミッションの問題です。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)

ダッシュボード 投稿 **管理** リンク 表示 プラグイン ユーザー オプション インポート

投稿 ページ カテゴリー コメント 承認待ち (0) ファイル **バックアップ**

警告: wp-content ディレクトリに書き込みが**できません**。バックアップディレクトリが作成できませんでした。
/home/ [redacted] /wp-content/backup-eb54d/

警告: バックアップディレクトリに書き込みが**できません**。バックアップディレクトリが作成できませんでした。
/ [redacted] /web/sample/

バックアップ

バックアップテーブルの設定

次の WordPress コアテーブルは常にバックアップされます。

- wp_categories
- wp_comments
- wp_linkcategories
- wp_links
- wp_options
- wp_post2cat
- wp_postmeta
- wp_posts
- wp_usermeta
- wp_users

バックアップオプション設定

バックアップファイルの処理:

☐ サーバーに保存する (wp-content/backup-eb54d/)

☒ すぐにダウンロードする

単純にインストールしたフォルダのパーミッションを書き込み可能にすればよいわけです。インストールしたフォルダそのものと、場合によってはその直下の wp-content というフォルダを書き込み可能(757,777)などにします。

再度更新をすれば、警告は無事消えてくれます。消えない場合はパーミッションの設定をサーバーにあわせて設定してください。

さて、今回は起業家のためのノウハウですから、GoogleAdSense や Amazon アソシエイトの広告が表示できるようにしましょう。

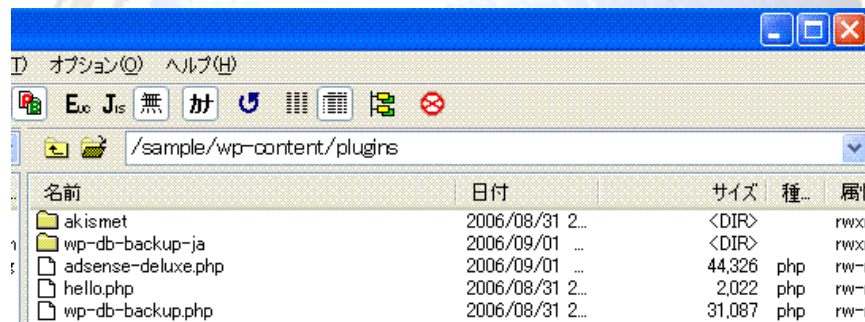
<http://www.acmetech.com/blog/2005/07/26/adsense-deluxe-wordpress-plugin/>

こちらでプラグインをダウンロードします。

Download URL: [Download AdSense-Deluxe Plugin](#)

上をクリックしてもダウンロードできます。

任意の場所に保存し、解凍します。解凍したファイルのうち、adsense-deluxe.php を FTP 転送ソフトで /wp-content/plugins の直下にアップロードします。



次に、プラグインからプラグインのメニューを見ます。

ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 **プラグイン** ユーザー オプション インポート

プラグイン プラグインエディタ

！ 選択されたプラグインを無効にしました。

プラグイン管理

プラグインとは、WordPress のコアパッケージとは別途にダウンロードする“機能”を追加するためのファイルです。一旦プラグインがインストールされれば、ここでそのプラグインを作動させたり停止させたりすることができます。

プラグイン	バージョン	概要	アクション
AdSense-Deluxe	0.8	Place Google AdSense ads in your WordPress Posts. Requires WordPress 1.5 or higher. For complete usage and configuration click on AdSenseDeluxe under the “Options” menu. By Acme Technologies .	有効化

AdSense-Deluxe が表示されていますので有効化をクリックします。

ライセンスフリーな WordPress で起業しろっ！ (マスターリセールライト付)

ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー **オプション** インポート

一般設定 投稿設定 表示設定 ディスカッション パーマリンク設定 その他の設定 **AdSenseDeluxe**

Options for AdSense-Deluxe Plugin v0.8 (Add New)

AdSense-Deluxe provides shortcuts for automatically inserting Google AdSense code into your posts.

- **Instructions** are located at the bottom of this page. . . . or visit [AdSense-Deluxe home page](#)
- The **AdSense Preview Tool** will help you see which ads will appear on your pages.
- **Maximize your ad revenues:** [AlternateURL](#) [Login to AdSense](#) read [Google's TOS](#)
- Please support AdSense-Deluxe development with a [PayPal Donation](#) or the [Reward Author](#) feature

AdSense Blocks

Name	Description	Actions	On
<i>The options below this line control where Ads will be shown.</i>			
		Enable Ads on Individual Posts	<input checked="" type="checkbox"/>
		Enable Ads on Home page	<input checked="" type="checkbox"/>
		Enable Ads on "pages"	<input checked="" type="checkbox"/>
		Enable Ads on any Archive page	<input checked="" type="checkbox"/>
		Globally enable/disable all ads	<input checked="" type="checkbox"/>

New AdSense Block

Name	AdSense Code	Description (optional)
<input type="text"/> <input type="checkbox"/> Make Default	<div><div></div><div></div></div>	<div><div></div><div></div></div>

AdSense SandBox (Preview Tool)

View AdSense for:

This form allows you to preview the ads which would appear on a web page. Just enter any URL in the text box and the ads will display in a new window. Since they're shown in test mode, none of the impressions are recorded and clicking them does not cost nor benefit anyone.

Reward Plugin Author

☐ Reward *AdSense-Deluxe* Author with 5% of your AdSense Impressions

When this option is checked, approximately 5% of the ad impressions on your blog will use my [the guy who wrote and maintains this plug-in] AdSense client-ID. Doing this is not *crazy*, no... it's a good way to help contribute to let the author know you appreciate how useful the tool is to you and motivate him to add more features. I've spent over 200 hours writing and maintaining this software and will only continue releasing updates if the community shows their support. *[My sincere thanks to all those users who are already showing that support!]*

オプションメニューに AdSenseDeluxe が表示されています。ここで Google で取得した広告コードを入力します。

New AdSense Block の部分にです。

Name のところに任意の名前、AdSense Code のところに Google から提供されたコードを入力し、「Add AdSense Block」をクリックして完成です。

次は、Amazon アソシエイトです。

http://wordpress.xwd.jp/tutorials/j_plugin.phpに日本語化されたAmazonアソシエイトのプラグインが用意されています。

<http://wordpress.xwd.jp/files/wp-amazon.zip>

こちらが本体です。

任意の場所に保存し解凍します。

そうすると、このようなフォルダとファイルがあるはずです。



最初に、アソシエイトIDの設定をします。wp-adminの中に入っている、wp-amazon.phpをテキストエディタで開きます。(メモ帳で OK)

59 行目あたり(エディタの設定による)に

```
/* Set Amazon Associates tag */
```

```
$AssociateTag = 'in*****22';
```

などと書かれているところを探してください。

そこに、Amazon から割り当てられているトラッキング ID を入力します。

```
47 /* Amazon Associates Program↓
48 -----↓
49 If you have an Amazon Associates account, you may specify your↓
50 associates tag and developer token below. If you don't you can↓
51 leave these settings alone. For more information about the↓
52 Amazon.com Associates Program, visit the following site for more↓
53 information:↓
54 http://www.amazon.com/gp/browse.html/104-9918661-1983944?node=3435371↓
55
56 */↓
57
58 /* Set Amazon Associates tag */↓
59 $AssociateTag = 'inform[REDACTED]';↓
60
61 /* Set Amazon Web Services subscription id */↓
62 $SubscriptionID = 'ORX11[REDACTED]02';↓
63
64 /* Debug flag */↓
65 $debug = false;↓
66
67 /*****
68 ***** DO NOT CHANGE ANYTHING BEYOND THIS POINT *****/
69 /*****
```

SubscriptionIDは<http://www.amazon.co.jp/gp/feature.html?docId=451209>

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)

ここから[登録IDの取得\(英語\)](#)というところをクリックして新しくアカウントを作成してください。
Amazon.comのアカウントをもっている方はそのメールアドレスとパスワードを入力します。
すべて英語ですが、半角英数で入力していけば特に問題ないかと思います。
といいつつも、必ず悩む方がいらっしゃるのでは図解で説明します。

The screenshot shows the 'Create an Amazon Web Services Account' page. At the top, there's a progress bar with three steps: 1. SIGN IN, 2. ACCOUNT INFO, and 3. SUCCESS. The first step, 'SIGN IN', is highlighted. Below the progress bar, there's a section titled 'Join our community' with a yellow background. It contains text about the benefits of the AWS Developer's community and a list of reasons to register as an Amazon Web Services developer. To the right of this section, there's a form titled 'Please enter an email address and password that will be associated with your Amazon Web Services account.' It includes a text input field for 'My e-mail address is', a radio button for 'No, I am a new customer.', and another radio button for 'Yes, I have a password:'. Below the 'Yes' option is a link for 'Forgot your password? Click here' and a 'Continue' button. At the bottom, there's a small disclaimer about the secure server.

この画面で「My e-mail address is」の次に、自分のメールアドレスを入力します。
パスワードを持っていないはずなので、「No」にチェックを入れたまま Continue をクリックします。

The screenshot shows the 'Create an Amazon Web Services Account' page, Step 2: ACCOUNT INFO. The progress bar at the top now shows 'ACCOUNT INFO' as the active step. Below the progress bar, there's a section titled 'If you do not have an Amazon.com Account you may create one below'. It contains three text input fields: 'My name is:', 'My e-mail address:', and 'Re-enter e-mail address:'. Below these fields, there's a section titled 'Protect your information with a password' with two text input fields: 'Enter a new password:' and 'Re-enter password:'. At the bottom, there's a 'Continue' button.

My name is:のところにあなたの名前、その下にメールアドレスを、さらに下にも同じメールアドレスを入力し、パスワードを設定します。これも 2 度入力します。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)



Create an Amazon Web Services Account

1 SIGN IN 2 ACCOUNT INFO 3 SUCCESS

Please enter your contact information and confirm your acceptance of the AWS Licensing Agreement.

Contact Information

Full Name* tanaka

Address Line 1*

Address Line 2

City*

State, Province or Region*

ZIP or Postal Code*

Country*

Phone number*

Company or Web Site Name

Web Site URL

* required field

How did you hear about Amazon Web Services

- ☐ Amazon Web Site ☐ Article/Blog
- ☐ Friend/Co-worker ☐ User Group/Tradeshaw
- ☐ Coursework ☐ Online Screencast

AWS Licensing Agreement [Printer Friendly Version](#)

Updated August 23, 2006
CONTENTS
Introduction and Definitions
Sections 1-6, and 8-13: Amazon Web Services generally
Section 7: Specific Service Terms
Section 7A: Amazon E-Commerce Service (Amazon ECS)
Section 7B: Amazon Simple Storage Service (Amazon S3)
Section 7C: Amazon Simple Queue Service (Amazon SQS)

☐ Check here to indicate that you have read and agree to the terms of the Amazon Web Services licensing agreement.

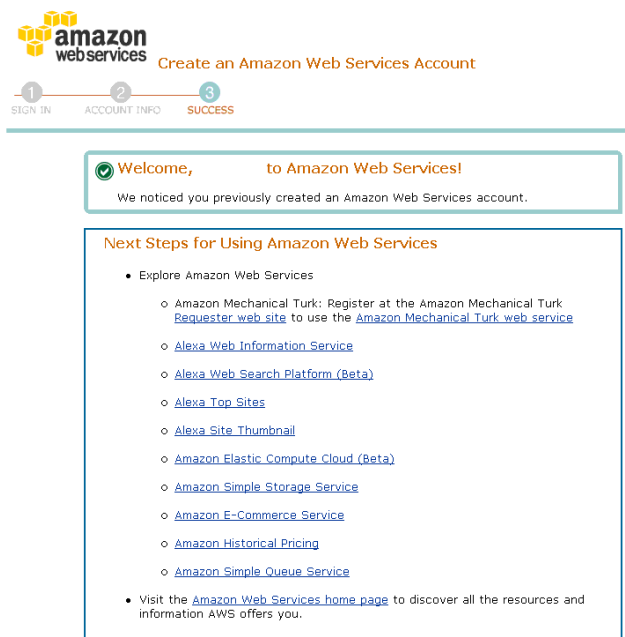
Continue ▶

上から順番に、「住所1」に区や市を除いた住所を(適当でいいです)、書ききれない場合などに「住所2」に追記、City に市や区を(東京都渋谷区の場合は渋谷区ですね)入力、State, Province or Region は東京都や千葉県などを入れます。
次に郵便番号を、Country は Japan を選択、最後に電話番号を入力します。
あとは必須ではないので書かなくても良いです。

ラジオボタンがいくつかありますが、適当に。AWS Licensing Agreement をよく読んで(笑)下にあるチェックボックスにチェックをいれ、同意したことにします。(いや、同意してください

ライセンスフリーな WordPress で起業しろっ！ (マスターリセールライト付)

(笑)) そして Continue。

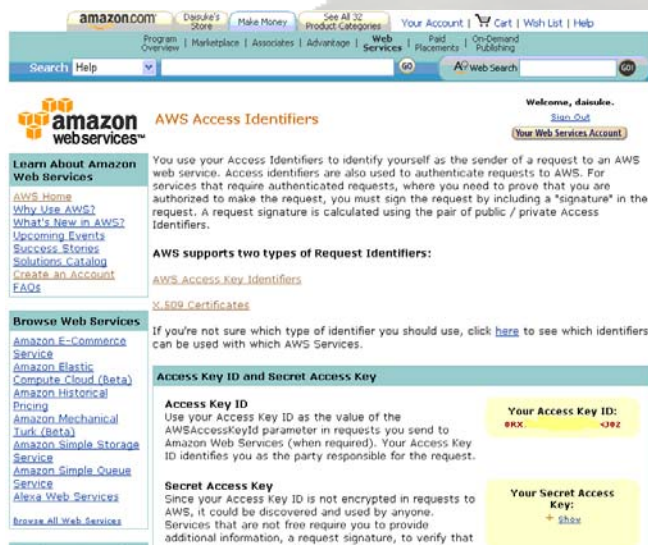


この画面で終了です。2～3 分待てば登録したメールアドレスに Amazon から次のようなメールが送られてきます。

You'll need an Access Key ID to build your application and make valid web service requests. Obtain and learn more about your Access Key ID on the AWS web site:

<http://aws-portal.amazon.com/gp/aws/developer/account/index.html?action=access-key>

リンクをクリックしてログインしてください。



画面下の「Your Access Key ID」の下に書かれている英数字があなただけの SubscriptionID です。これを先ほどメモ帳などで開いた wp-amazon.php に記入します。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)

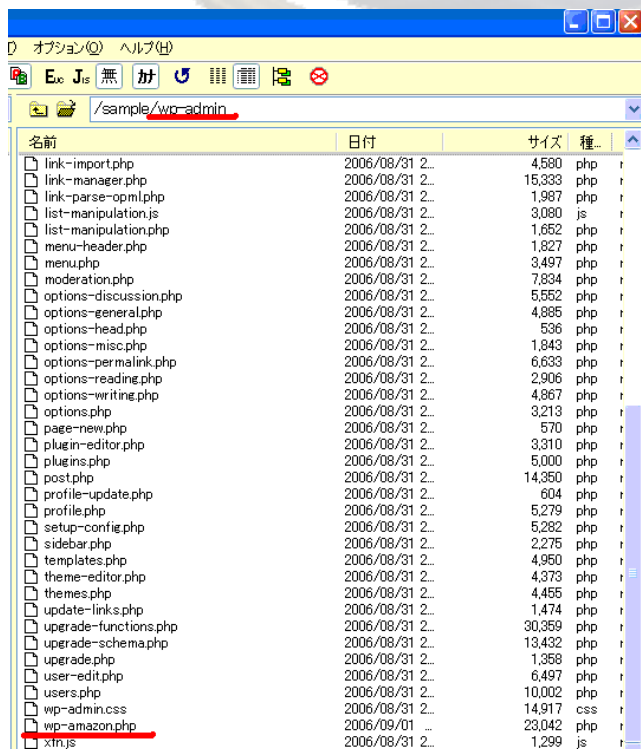
```
4/* Amazon Associates Program↓
48-----↓
49If you have an Amazon Associates account, you may specify your↓
50associates tag and developer token below. If you don't you can↓
51leave these settings alone. For more information about the↓
52Amazon.com Associates Program, visit the following site for more↓
53information:↓
54↓
55http://www.amazon.com/gp/browse.html/104-9918661-1983944?node=3435371↓
56*/↓
57↓
58/* Set Amazon Associates tag */↓
59$AssociateTag = 'inform[REDACTED]';↓
60↓
61/* Set Amazon Web Services subscription id */↓
62$SubscriptionID = 'ORX11[REDACTED]02';↓
63↓
64/* Debug flag */↓
65$debug = false;↓
66↓
67/***** DO NOT CHANGE ANYTHING BEYOND THIS POINT *****/↓
68/***** DO NOT CHANGE ANYTHING BEYOND THIS POINT *****/↓
69/***** DO NOT CHANGE ANYTHING BEYOND THIS POINT *****/↓
```

SubscriptionID のところですね。’は絶対に消さないでください。’と’の間に書き込みます。
上書き保存します。

次に、wp-content の中にある、wp-amazon-plugin.php というファイルをサーバーにアップロードします。

/wp-content/plugins にアップロードしてください。

次に、wp-admin のフォルダの中に入っている、先ほど編集した wp-amazon.php をサーバー側の/wp-admin にアップロードします。



そうしますとプラグインの中に表示されていますので有効化します。

ライセンスフリーな WordPress で起業しろっ！ (マスターリセールライト付)

ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー オプション インポート

プラグイン プラグインエディタ

プラグイン管理

プラグインとは、WordPress のコアパッケージとは別途にダウンロードする“機能”を追加するためのファイルです。一旦プラグインがインストールされれば、ここでそのプラグインを作動させたり停止させたりすることができます。

プラグイン	バージョン	概要	アクション
Akismet	1.1.5	Akismet checks your comments against the Akismet web service to see if they look like spam or not. You need a WordPress.com API key to use this service. You can review the spam it catches under “Manage” and it automatically deletes old spam after 15 days. Hat tip: Michael Hampton and Chris J. Davis for help with the plugin. <i>By Matt Mullenweg.</i>	有効化
AdSense-Deluxe	0.8	Place Google AdSense ads in your WordPress Posts. Requires WordPress 1.5 or higher. For complete usage and configuration click on AdSenseDeluxe under the “Options” menu. <i>By Acme Technologies.</i>	無効化
Hello Dolly	1.5	This is not just a plugin, it symbolizes the hope and enthusiasm of an entire generation summed up in two words sung most famously by Louis Armstrong: Hello, Dolly. When activated you will randomly see a lyric from Hello, Dolly in the upper right of your admin screen on every page. <i>By Matt Mullenweg.</i>	有効化
WordPress Database Backup	1.7	On-demand backup of your WordPress database. <i>By Scott Merrill.</i>	無効化
WP-Amazon	1.2.3	WP-Amazon adds the ability to search and include items from Amazon.com to your post entries. This plugin adds a link called “Insert item from Amazon.com” on the post page. This link launches a search window which allows an author to search for items from Amazon.com to be included on the author’s post entry. <i>By Rich Manalang.</i>	有効化

有効化すると、投稿メニューの「記事投稿」の中に赤線で記されているようなリンクが表示されます。

ダッシュボード 投稿 管理 リンク 表示 プラグイン ユーザー オプション インポート

記事投稿 ページ作成

記事投稿

タイトル

投稿内容

Path:
[Insert content from Amazon](#)

保存して編集を続ける 保存 公開

ディスカッション +

この記事のパスワード +

投稿スラッグ -

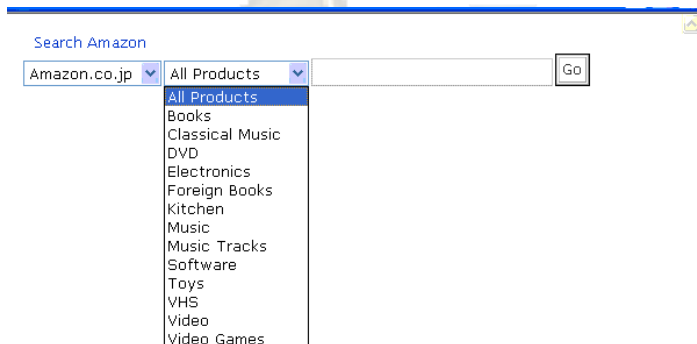
カテゴリ -

カテゴリが複数ある場合はカンマで区切って下さい。

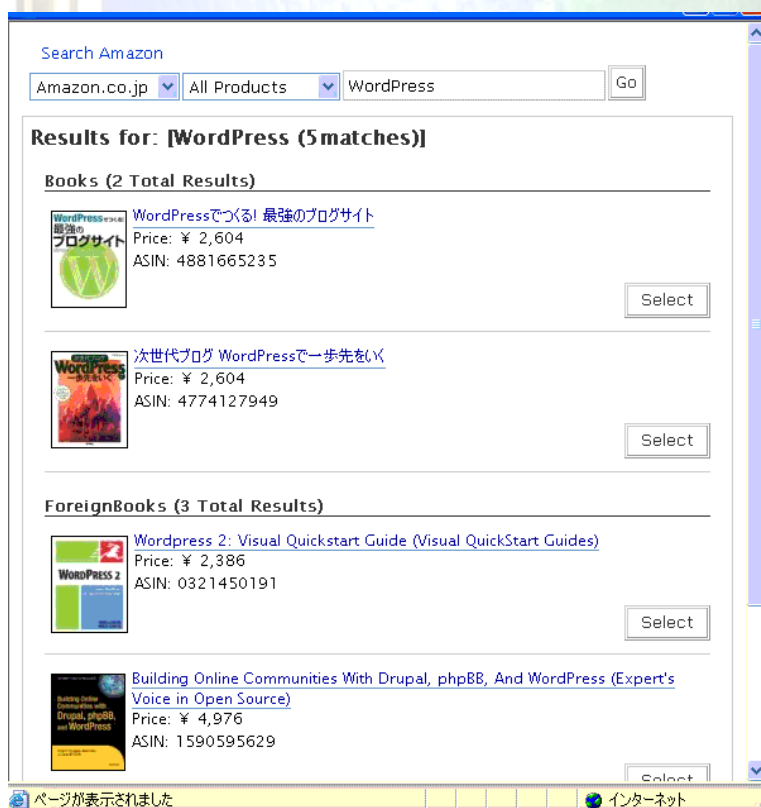
☒ 未分類

クリックしますと、このようになります。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)



後は、空欄に WordPress と入力してみましょう。



自分のブログに載せたい商品を右側にある「Select」をクリックして選択します。
画像が出てきて、右側に項目がいくつかありますね。

上から順番に

- 1、リンクのみ
- 2、小画像のリンク
- 3、中画像のリンク
- 4、大画像のリンク

と選べます。

ライセンスフリーな **WordPress** で起業しろっ！
(マスターリセールライト付)

好みに合わせてラジオボタンをクリックしてください。



The screenshot shows a web browser window with the Amazon.co.jp search bar at the top. Below the search bar, there's a section titled "WordPressでつくる! 最強のブログサイト" (Create with WordPress! The strongest blog site). Under this title, there's a sub-header "How to Include?" and a list of four radio button options: "Link only", "Link with small image", "Link with medium image", and "Link with large image". The "Link with large image" option is selected. To the left of these options is a small image of a WordPress logo. Below the radio buttons, there's a text box labeled "HTML Code" which is currently empty. At the bottom of the form, there are three buttons: "Add to HTML Post", "Close Window", and a "Back" link.

ラジオボタンをクリックすると自動的に下の「HTML Code」の部分にコードが出てきますので「Add to HTML Post」をクリックします。自動的にコードが組み込まれます。

以上で、アフィリエイト用ブログプラグインの説明は終了です。

他のブログからの引越し

既存のブログの内容をはじめから投稿するなんて事、誰もやりたくありません(笑)

WordPress にはインポート機能がついております。

A screenshot of the WordPress administration interface, specifically the 'Import' screen. The top navigation bar includes links for 'Dashboard', 'Posts', 'Media', 'Links', 'Appearance', 'Plugins', 'Users', 'Options', and 'Import'. The 'Import' link is highlighted. Below the navigation bar, the 'Import' screen is displayed with the title 'インポート'. A paragraph of text explains that imported posts can be edited and saved, and that the author name can be changed. Below this text is a table with two columns: a list of importers and their descriptions. The table includes links for Blogger, Dotclear, LiveJournal, Movable Type, RSS, and Textpattern. At the bottom of the screen, a status bar shows 'WordPress ME2.0.4 - ReadMe - Forums - 0.56 秒'.

インポートのメニューから、該当するタイプのブログを選びます。

今回は MovableType からインポートする方法を紹介します。

MovableType の管理画面にログインしてください。左側にシステムメニューがあるはずです。その中の「ブログ」をクリックします。そうすると、画面中央に、「ブログ名」と出ているはずです。

その下のあなたがつけたブログの名前がリンクされているはずです。複数ある場合はひとつを選んで、クリックしてください。画面左側にあるユーティリティのタブから「読み込み/書き出し」をクリックします。

画面、中ほどに「エントリーの書き出し」とあります。そこをクリックしましょう。するとその下に、「あなたのつけたブログ名」からエントリーを書き出す」というリンクが見えるはずです。クリックします。ダウンロードが始まりますので、任意の場所に保存してください。

ではログアウトしてください。

WordPress の管理画面にログインします。メニューの一番右側にあるインポートをクリックしてください。

MovableType をクリックします。参照ボタンを押して、先ほど保存したファイルを指定します。その後、インポートをクリックします。

今まで使っていた投稿者名を使用することは出来ませんが、admin がお勧めです。

そして、送信 (Submit) をクリックします。量が多いと中断する可能性があります、再度実行してください。その場合は重複されません。

無料のブログにはバックアップ機能がついていない場合があります。

しかし、MovableType への移行が出来るタイプもあるので、一回 MovableType へインポートして、それから WordPress にインポートするのが一番簡単なようです。

実際すべての方法は紹介できませんので、[各種フォーラム](#)でたずねてください。

無事すみしましたか？では WordPress を楽しんでください！

あなたが何の心配をすることなく存分にビジネスを楽しむことが出来ます。

あなたの成功を心よりお祈り申し上げます。

情報セキュリティ有限会社
代表取締役 田中大輔